

Eduvolution

令和7年度千葉県教育庁教育振興部
学習指導課ICT教育推進室発行

教育 (Education) × 進化 (Evolution) の造語
「ICT」を効果的に活用することで、
教育の次なるステップを目指しましょう。



※県教育委員会ホームページのICT教育のバナーにアクセスしてください。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shidou/giga/jouhoukeikaku.html>

柏井高校の実践に学ぶ～ゲーム型教育プログラム「レイの失踪」～

今回は令和7年11月13日に千葉県立柏井高等学校の1・3年の生徒を対象に行われた、ゲーム型プログラム「レイの失踪」について取材した内容をお伝えします。SNSを通じた「闇バイト」勧誘が若者を犯罪に巻き込む事例が急増する中、教育現場で新しい防犯教育が注目されています。この「レイの失踪」は、没入型体験を通じて危険な求人情報の見抜き方や対処法を学ぶ仕組みとなっています。そしてプログラムを開発したのは、現役大学生で構成される株式会社Classroom Adventureで、人気配信者レイの失踪を追うというストーリーの謎解き型ゲームです。特徴として、生徒1人1人がそれぞれの端末で取り組むことができ、現在の進行状況がリアルタイムで反映される

「レイの失踪」で養う力

Critical Thinking

01. 「何に」騙されてしまうのかを追体験。

Information Literacy

02. 「何で」抜け出せなくなるのかを追体験。

Social Media Navigation

03. 「何を」するべきなのかを追体験。

株式会社ClassroomAdventure提供の資料より抜粋

実際に生徒が体験している画面



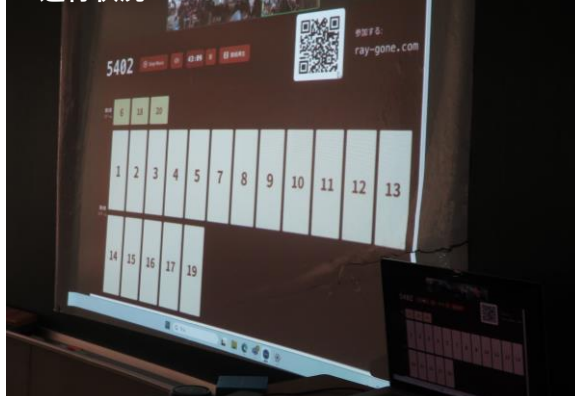
ため競争心をあおり、自然と夢中になっていました。また**SNS環境をリアルに再現**されているので、普段生徒たちが目にしている画面とほぼ同じ画面が出てくるため没入しやすくなっています。また、**実際の被害事例を基にしたシナリオ**のため、手口や怖さを体感できるようになっています。そして、ただゲームを行って終わりではなく、全体が一段落したら、振り返りを行うことで、より理解を促進

する取り組みになっていました。

特に**危険な求人広告の見抜き方**や**個人情報報流出時の対応策**は、今すぐに必要な情報であり、このプログラムを受けることで従来の「やるな」という警告型授業では響かない中、ゲームを通じて楽しく学ぶ新しい教育のかたちを見ることができました。

社会問題となっている「闇バイト」について、具体的な対策や取り組みが模索される中、全国的にも注目されている今回のプログラムを活用することが1つの試金石になっていました。

Zoomで各教室と講師を繋いだリアルタイムの進行状況



CHIBA CODER CUP 2025最終審査会

令和7年11月8日に千葉テレビ放送株式会社と千葉県教育委員会で共催するCHIBA CODER CUP 2025最終審査会の収録が行われました。**最終審査会には応募総数105点の中から一次審査を経て5点の作品がエントリーしました。**

今大会のテーマは【「やさしさ」あふれるゲームやツール】ということで、最終審査会では、一人持ち時間7分以内のプレゼンテーションにそれぞれが作品に込めた思いやこだわったポイントなどを語っていました。出場できるのは千葉県在住の小学生ということですが、ゲームの完成度もプレゼンテーションの内容も大人顔負けの仕上がりになっていました。

小学校でのプログラミング教育が2020年から必修化され5年目になり、内容や作品の完成度が年々高まっていると審査員の先生方もおっしゃっていました。**結果や審査会の模様は、千葉テレビで12月7日の19:00～放送**される予定ですので、是非ご覧ください。詳しくは<https://www.chiba-tv.com/chiba-coder-cup/>千葉テレビHPをご覧ください。（上記QRコードからもご覧いただけます。）



最終審査出場者が決定しました!!

ファイナルプレゼンテーションの模様を
12/7(日) 19時~千葉テレビで放送!

授業で活用できる人気アプリの紹介「ふきだしくん」

今回紹介するアプリは、リーディングDXの公開研究会等でもよく使われており、ご存じの方も多い「ふきだしくん」です。

簡単な操作で参加者の意見を**付箋という形でリアルタイムに共有**できる上、タイトルのとおり端末形態やOSに依存せず、インターネットに接続さえしていれば使用可能で、**面倒な登録や認証が不用**であることが特徴です。

1つのボードに最大100人が参加できるのでクラス単位で作成し、学年で共有するなど様々な利活用方法が想像させられます。また、投稿した人以外は修正や削除ができないようにしたり、講師以外は他の投稿を見られなくしたりなどを簡単に切り替えられるようになっています。

注意点としては、保存機能がなく翌日には自動削除されてしまうため、結果の保存としてはスクリーンショットなどの機能で対応することが必要です。是非活用してみてください!!

ふきだしくんHP



URL: <https://477.jp/>

